

港中だより

伊勢市立港中学校 No.5

R7. 9. 19

校長 清水 能人

◇全国学力・学習状況調査結果について◇

4月16・17日に実施した全国学力・学習状況調査の結果が8月末に公表されました。この調査は3年生のみのもので、今年度は、国語・数学・理科の3教科の実施となりました。また、生徒質問用紙を用い教科以外の生活への関心なども調査をしました。つきましては、港中学校の今回の結果について報告いたします。

国語については、全部で14問あり、平均正答数は全国で7.6問、三重県は7.5問、港中は7.8問となり、全国・三重県平均より0.3～0.4ポイント程上回りました。数学については、全部で15問あり、平均正答数は全国で7.4問、三重県は7.1問、港中は6.8問となり、全国・三重県より0.3～0.5ポイント程下回りました。理科は、IRT（標準値）スコア500に対して、全国平均503、三重県平均498、港中は503となり全国標準値と同ポイントとなりました。

今回の調査はこれまで（主に中学校2年生まで）の学習内容に関する理解を確認するためのものですが、未消化になっている部分がわかってきたと思います。そのまま放っておくのではなく、今のうちに確認するいい機会にしてください（懇談会におきまして、今回の学力調査個人票をすでにお渡しいたしました）。結果が平均より良かったかどうかだけでなく、どの問題が正答でどの問題が誤答だったかがわかるので、問題を見て振り返ってもらおうと思います。これからも3年生のみなさんはもちろん、1, 2年生のみなさんも学校の授業を中心とした学習、そして家庭学習にも励んでください。

1. 学力調査でわかってきたこと

数学科において全国平均・県平均を下回っていましたが、大きな開きではありませんでした。今回の調査の結果、図形の証明問題やデータの活用の問題に対しての正答率が低かったので、問題文を理解し、問題解決の方法を数学的な表現を用いて説明することについての課題が見えてきました。今後改善していく手立てとして、自分の考えを根拠付けて説明することができるよう「伝える力」を授業において育てていきたいと考えています。港中学校では、今回学力調査を行った国語科、数学科、理科だけでなく、他教科の授業においても、言葉や文章での主体的な対話活動（共働的なグループ活動）を通し、深い学びにつなげていく場面を盛り込んでいます。授業において様々な課題を解決する場面を設定し、対話活動を積極的に取り組むことによって改善してまいります。

また、国語科では「思考・判断・表現」の分野においては全国平均を上回って（特に、「読むこと」が大きく上回っている）おりました。これは本校の昨年度からの課題であった「読み取る力」の習得が徐々に成果となって表れてきていると考えます。引き続き、読書の習慣を大切に、授業だけでなく、新聞など自分の興味がある記事等、ある程度まとまった活字数の文章を目で追いかける（活字に慣れる）練習を日ごろから続けていくことが大切です。また、書店で本を購入または、図書館等に借りに行かなくても、費用がかからず利用できる「電子図書（タブレット端末内にあるアプリです。伊勢市が契約をしています）」も是非ご利用ください。

また、港中だよりNo.3でも紹介させていただいた、学習アプリ「ドリルパーク」「eboard（イーボード）」を家庭学習・自主学習等、振り返り学習、そして予習等に引き続きご活用ください。『継続は力なり』です。

2. 学習状況（生徒質問）・学校調査について

※生徒質問用紙から全国と比較して積極的な部分、改善点を報告します。

○積極的な部分

- | | |
|---------------------------|-----------------|
| ・自分には良いところがある。 | 88.4%【全国平均86.2】 |
| ・人の役に立つ人間になりたいと思いますか | 97.1%【全国平均96.6】 |
| ・人が困っているときは進んで助ける。 | 92.8%【全国平均90.9】 |
| ・いじめはどんな理由があってもいけないこと。 | 98.5%【全国平均95.9】 |
| ・学校に行くのは楽しいですか。 | 87.0%【全国平均86.1】 |
| ・友達関係に満足していますか。 | 94.2%【全国平均91.4】 |
| ・地域や社会をよくするために何かしてみたいですか。 | 76.8%【全国平均75.3】 |

◎仲間意識、自己肯定感も高いことが窺われます。

◎タブレット端末を活用して学習することに対して、メリットがあったとの回答が4項目において全国平均を上回っており、端末を使用した学習が本校生徒にとって使い勝手の良いものであることがわかりました。これまでの学校日より、港中学校の生徒の家庭学習を含めた端末の使用率が非常に高いことについてお伝えしましたが、続けることによって今後の成果につながることを期待されると考えています。また、授業での積極的な活用を続けていきます。家庭学習におきましても引き続き活用くださいますようよろしくお願いいたします。

○改善点

・家庭学習の重要性について

中学校の学習内容は小学校とは違い、授業で学習した内容を家庭学習によって定着させることが必要になってきます。家庭学習において、わからなかったところを反復練習することによって定着度が実感できると思います。実行してみてください。未消化のまま終わらせているところがある人は、復習を中心に家庭学習を行ってほしいです。今からでも遅くはありません。復習のやり方としては、学習アプリを使ってください。それでもわからない時には先生に聞いてください。

・タブレット端末の活用について

上記でもお伝えしましたが、タブレット端末を活用して学習することに対して、学習に有効であると理解しながら、利用していない人もいたということもわかってきました。効率的な学習アプリを家庭学習（予習・復習）の中に盛り込むことによって、学習内容・基礎学力の定着と確認に役立ててほしいです。

3. 今後の取り組みについて

本校では調査の結果をしっかりと受け止め、積極的な部分をさらに伸ばし、課題を改善できるよう検討してまいります。また、授業では、学習の基礎基本の充実とともに、生徒一人ひとりの自己有用感を大切に場面を設定し、協働的で対話的な学習活動（グループワーク等）を盛り込んだ授業を引き続き実践してまいります。先日、3年生の第2回の実力テスト（R7.8.28実施）の結果が出てまいりました。全体的に成績が上がってきており（第1回実力テスト5教科の平均点が28ポイント上昇）、生徒たちの学習に対する積極的な姿勢と意識の高まりが結果として表れ始めているように感じます。これらのことを踏まえ、職員の研修会を開き、指導方法の改善に努めていきたいと思っています。これからもご家庭や地域のみなさまと連携し、生徒の成長を支援していきたいと考えます。どうかご理解ご協力をお願いいたします。

◇第2回みえスタディチェックについて◇

1月26日（火）に2年生を対象に、第2回みえスタディチェックが行われます。今回もC B T（Computer Based Testing）システムといってタブレットで出題され、解答していく問題です。第1回のスタディチェックで2年生は、国語科は県平均を上回る結果でしたので、次回は他教科においても県平均を上回る結果が出せるといいと思います。